

Arcserve® サイバーレジリエンス ストレージ

コマンド リファレンス ガイド

バージョン 1.0

arcserve®

リーガルノティス

組み込みのヘルプシステムおよび電子的に配布される資料も含めたこのドキュメント(以下「本書」)はお客様への情報提供のみを目的としたもので、Arcserveにより随時、変更または撤回されることがあります。

Arcserveの事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複製、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。本書はArcserveが知的財産権を有する機密情報であり、ユーザは(i)本書に関連するArcserveソフトウェアの使用について、Arcserveとユーザとの間で別途締結される契約により許可された以外の目的、または(ii)ユーザとArcserveとの間で別途締結された守秘義務により許可された以外の目的で本書を開示したり、本書を使用することはできません。

上記にかかわらず、本書で取り上げているソフトウェア製品(複数の場合あり)のライセンスを受けたユーザは、そのソフトウェアに関して社内で使用する場合に限り本書の合理的な範囲内の部数のコピーを作成できます。ただしArcserveのすべての著作権表示およびその説明を各コピーに添付することを条件とします。

本書を印刷するかまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザはArcserveに本書の全部または一部を複製したコピーをArcserveに返却したか、または破棄したことを文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、ARCserveは本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。また、本システムの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の損失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、ARCserveはお客様または第三者に対し責任を負いません。ARCserveがかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本書に記載されたソフトウェア製品は、該当するライセンス契約書に従い使用されるものであり、当該ライセンス契約書はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者はArcserveです。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14、52.227-19(c)(1) - (2)、DFARS Section 252.227-7014(b)(3)、またはこれらの後継の条項で規定されている該当する制限に従うものとします。

© 2025 Arcserve(その関連会社および子会社を含む)。All rights reserved. サードパーティの商標または著作権は各所有者に帰属します。

Arcserve へのお問い合わせ

Arcserve サポート チームは、技術的な問題の解決に役立つ豊富なリソースを提供します。重要な製品情報に簡単にアクセスできます。

[Arcserve へのお問い合わせ](#)

Arcserve のサポート：

- Arcserve サポートの専門家が社内で共有しているのと同じ情報ライブラリに直接アクセスできます。このサイトから、弊社のナレッジ ベース(KB)ドキュメントにアクセスできます。ここから、重要な問題やよくあるトラブルについて、製品関連 KB 技術情報を簡単に検索し、検証済みのソリューションを見つけることができます。
- 弊社のライブ チャット リンクを使用して、Arcserve サポート チームとすぐにリアルタイムで会話を始めることができます。ライブ チャットでは、製品にアクセスしたまま、懸念事項や質問に対する回答を即座に得ることができます。
- Arcserve グローバル ユーザ コミュニティでは、質疑応答、ヒントの共有、ベストプラクティスに関する議論、他のユーザとの対話に参加できます。
- サポート チケットを開くことができます。オンラインでサポート チケットを開くと、質問の対象製品を専門とする担当者から直接、コールバックを受けられます。

また、使用している Arcserve 製品に適したその他の有用なリソースにアクセスできます。

目次

第1章: 概要	1
Arcserve サイバーレジリエンス ストレージ サーバのシェルコマンド	2
alert	3
create	4
list	5
delete	6
disk	7
list	8
echo	9
email	10
configure	11
show	12
test	13
exit	14
filesystem	15
create	16
mount	17
unmount	18
list	19
delete	20
help	21
key	22
create	23
list	24
delete	25
logs	26
network	27
hostname	28
interface	31
pool	34
create	35
list	36
add-disk	37
status	38

delete	39
replace-disk	40
reboot	41
security	42
check	43
shutdown	44
snapshot	45
list	46
cleanup	47
mount	48
unmount	49
support	50
enable	51
upload-bundle	52
time	53
show	54
timezone	55
list	56
show	57
set	58
update	59
config	60
check	63
install	64
user	65
list	66
create	67
update	68
delete	69
version	70
索引	71

第1章: 概要

このコマンド リファレンスガイドでは、Arcserve サイバーレジリエンスストレージサーバを管理および保護するために使用する重要なシェルコマンドを包括的に提供しています。このガイドは、システム管理者、セキュリティエンジニア、IT 運用チーム向けに設計されており、機能カテゴリにグループ化された主要なコマンドをカバーし、実際の使用状況のコンテキストと例を示しながら、わかりやすく簡単にアクセスできるようになっています。

コマンドの形式

各コマンド リファレンスには以下が含まれます。

- コマンド構文
- 使用方法の説明

Arcserve サイバーレジリエンス ストレージ サーバのシェルコマンド

シェルは、Arcserve サイバーレジリエンス ストレージ サーバを管理できるコマンドライン インターフェイス (CLI) です。これは、Linux の Bash や Windows の PowerShell のように機能し、コマンドとその引数を入力してさまざまなタスクを実行します。使用可能なコマンドは、サーバのセキュリティと整合性を維持するために制限されています。

シェルにアクセスするには、初期セットアップの完了後に、SSH を使用して、またはコンソールから直接ログインします。

alert

このセクションでは、システム イベントに 応答して送 信される電 子メールアラートの 設定に使用するコマンドについて説明します。

使用方法

```
alert [-h] {create,list,delete} ...
```

サブコマンド:

create	4
list	5
delete	6

create

電子メールアラートを作成します。

使用方法

```
alert create [-h] -t TYPE -r RECIPIENTS [RECIPIENTS ...]
```

名前付き引数:

-t, --type

アラートを作成する対象を入力する。

-r, --recipients

アラートの受信者のリスト。

list

電子メールアラートをリストします。

使用方法

```
alert list [-h]
```

delete

電子メールアラートを削除します。

使用方法

```
alert delete [-h] -t TYPE
```

名前付き引数:

-t, --type

削除するアラートの種類。

disk

このセクションでは、ディスク関連のさまざまなアクションに使用するコマンドについて説明します。

使用方法

```
disk [-h] {list} ...
```

サブコマンド:

list	8
----------------------------	---

list

ディスクに関する情報を表示します。

使用方法

```
disk list [-h]
```

echo

コンソールにメッセージを表示します。このコマンドは、ローカルアプライアンスサービスの接続を確認します。

使用方法

```
echo [-h] [-d DURATION] message
```

位置引数:

message

表示するメッセージ。

名前付き引数:

-d, --duration

メッセージにかかる秒数。

デフォルト: 0

email

このセクションでは、アラートの電子メールの設定およびテストに使用するコマンドについて説明します。

使用方法

```
email [-h] {configure,show,test} ...
```

サブコマンド:

configure	11
show	12
test	13

configure

アラートに使用する電子メールサーバを設定します。

使用方法

```
email configure [-h] -H HOST [-P PORT] [-u USERNAME] [-n SENDER_ADDRESS] [-s] [-t]
[-x SUBJECT_PREFIX]
```

名前付き引数:

-H, --host

SMTP サーバホスト名

-P, --port

SMTP サーバポート (デフォルト: *-ssl* または *-starttls* に基づいて 25、465、または 587)

-u, --username

SMTP サーバユーザ名

-n, --sender-address

送信者の電子メールアドレス(デフォルト: `username`)

-s, --ssl

初期接続を暗号化する

デフォルト: `False`

-t, --starttls

STARTTLS で接続をアップグレードする(*-ssl* が設定されている場合は無視される)

デフォルト: `False`

-x, --subject-prefix

電子メールの件名行に追加するプレフィックス

show

現在の電子メール設定を表示します。最初に電子メールサーバを設定するには、「email configure」を使用します。

使用方法

```
email show [-h]
```

test

指定した受信者にテスト電子メールを送信します。最初に電子メールサーバを設定するには、「email configure」を使用します。

使用方法

```
email test [-h] -r RECIPIENT_ADDRESS
```

名前付き引数:

-r, --recipient_address

受信者の電子メールアドレス

exit

シェルを終了し、ユーザをログアウトします。

使用方法

```
usage: exit [-h]
```

filesystem

このセクションでは、ファイルシステムの管理に使用するコマンドについて説明します。

使用方法

```
filesystem [-h] {create,mount,unmount,list,delete} ...
```

サブコマンド:

create	16
mount	17
unmount	18
list	19
delete	20

create

指定したプールにファイルシステムを作成します。

使用方法

```
filesystem create [-h] -p POOL -n NAME [-m | --mount | --no-mount]
```

名前付き引数:

-p, --pool

プールの名前。

-n, --name

ファイルシステムの名前。

-m, --mount, --no-mount

作成後にファイルシステムをマウントする。

デフォルト: True

mount

スナップショットをマウントします。

使用方法

```
snapshot mount [-h] -p POOL -f FILESYSTEM -s SNAPSHOT
```

名前付き引数:

-p, --pool

スナップショットを含むプールの名前。

-f, --filesystem

スナップショットのファイルシステム。

-s, --snapshot

スナップショット リストに表示される、マウントするスナップショットの完全な名前。

unmount

既存のファイルシステムを指定したプールでマウント解除します。

使用方法

```
filesystem unmount [-h] -p POOL -n NAME
```

名前付き引数:

-p, --pool

プールの名前。

-n, --name

ファイルシステムの名前。

list

ファイルシステムのリストを表示します。

使用方法

```
filesystem list [-h] [-p [POOL]] [-n [NAMES ...]]
```

名前付き引数:

-p, --pool

プールの名前。

-n, --name

ファイルシステムの名前。

デフォルト: []

delete

指定したプールからファイルシステムを削除します。

注： 期限切れのスナップショットが含まれているファイルシステムは削除できません。

使用方法

```
filesystem delete [-h] -p POOL -n NAME
```

名前付き引数：

-p, --pool

プールの名前。

-n, --name

ファイルシステムの名前。

help

使用可能なコマンドまたは個々のコマンドの詳細をリストします。

使用方法

```
help [-h] [command]
```

位置引数:

コマンド

詳細なヘルプを表示するコマンドの名前。

key

このセクションでは、キー関連のさまざまな操作を実行するコマンドについて説明します。

使用方法

```
key [-h] {create,list,delete} ...
```

サブコマンド:

create	23
list	24
delete	25

create

アクセス キーを作成します。UDP またはクラウド コンソールで Arcserve サイバーレジリエンスストレージ アカウントを作成するときにアクセス キーを指定する必要があります。

使用方法

```
key create [-h] -i ID [-c [COMMENT]]
```

名前付き引数:

-i, --id

アクセスキーの識別子。

-c, --comment

オプションのコメント。

list

アクセス キーをリストします。

使用方法

```
key list [-h] [-i [ID]]
```

名前付き引数:

-i, --id

リストするキーのオプション ID。

delete

指定したアクセス キーを削除します。

使用方法

```
key delete [-h] -i ID
```

名前付き引数:

-i, --id

削除するアクセス キーの識別子。

logs

トラブルシューティング ログを表示します。

使用方法

```
usage: logs [-h] [-a] [-f]
```

名前付き引数:

-a, --audit

監査ログのみを表示する。

デフォルト: False

-f, --follow

最新のログと新しいエントリを表示する。

デフォルト: False

-follow を使用しない場合、ログはページャー(「less」と呼ばれるインタラクティブビューア)に表示されます。ページャーで h キーを押すと、使用方法のヘルプが表示されます。ログを表示または追跡した後、Ctrl + C キーを押してシェルに戻ります。

network

このセクションでは、ネットワーク設定のセットアップに使用するコマンドについて説明します。

使用方法

```
network [-h] {hostname,interface} ...
```

サブコマンド:

hostname	28
interface	31

hostname

システムホスト名を管理します。

使用方法

```
network hostname [-h] {list,modify} ...
```

サブコマンド:

list

現在のホスト名をリストします。

使用方法

```
network hostname list [-h]
```

modify

現在のホスト名を変更します。

使用方法

```
network hostname modify [-h] -n NAME
```

名前付き引数:

-n, --name

ホストの新しい名前。

interface

ネットワーク インターフェイスを管理します。

使用方法

```
network interface [-h] {list,modify} ...
```

サブコマンド:

list

インターフェースをリストします。

使用方法

```
network interface list [-h] [-i INTERFACE]
```

名前付き引数:

-i, --interface

リストするインターフェースの名前。

デフォルト: "

modify

指定したインターフェースを変更します。

使用方法

```
network interface modify [-h] [-f | --force | --no-force] -i INTERFACE [-m {auto,manual,disabled}] [-a ADDRESS] [-g GATEWAY] [-p {ipv4,ipv6}] [-d DNS]
```

名前付き引数:

-f, --force, --no-force

確認プロンプトを抑制する。

デフォルト: False

-i, --interface

変更するインターフェースの名前。

-m, --method

IP 割り当て方式。可能な選択: auto、manual、disabled

-a, --address

ネットワーク IP アドレス。CIDR 表記が必要です。

-g, --gateway

ネットワーク ゲートウェイ

-p, --protocol

インターフェースのプロトコルファミリ。可能な選択: ipv4、ipv6。

デフォルト: 'ipv4'

-d, --dns

インターフェースで使用される DNS アドレスのリスト。

pool

このセクションでは、さまざまなプール管理操作を実行するために使用するコマンドについて説明します。

使用方法

```
pool [-h] {create,list,add-disk,status,delete,replace-disk} ...
```

サブコマンド:

create	35
list	36
add-disk	37
status	38
delete	39
replace-disk	40

create

ストレージ プールを作成します。

使用方法

```
pool create [-h] -n NAME -d DISKS [DISKS ...] [-f | --force | --no-force]
```

名前付き引数:

-n, --name

プールの名前。

-d, --disks

プールに追加するディスクの名前。

-f, --force, --no-force

警告を無視してプールの作成を強制する。既存のディスクデータを上書きする可能性があります。

デフォルト: False

list

1つ以上のストレージプールの設定をリストします。

使用方法

```
pool list [-h] [-n [NAMES ...]]
```

名前付き引数:

-n, --names

リストする特定のプール名。

デフォルト: []

add-disk

ストレージ プールにディスクを追加します。

使用方法

```
pool add-disk [-h] [-n POOL_NAME] -d DISK_NAME [DISK_NAME ...]
```

名前付き引数:

-p, --pool-name

プールの名前。

-d, --disk-name

プールに追加するディスクの名前。

status

1つ以上のストレージプールのステータスを表示します。

使用方法

```
pool status [-h] [-n [NAMES ...]]
```

名前付き引数:

-n, --names

ステータスを表示するプールの名前。

デフォルト: False

delete

ストレージ プールを削除します。

使用方法

```
pool delete [-h] -n NAME [-f | --force | --no-force]
```

名前付き引数:

-n, --name

プールの名前。

-f, --force, --no-force

警告を無視し、プールを強制的に削除する。

デフォルト: False

replace-disk

指定したプール内のディスクを置き換えます。

使用方法

```
pool replace-disk [-h] -n POOL -o OLD_DISK -d NEW_DISK
```

名前付き引数:

-n, --pool

置き換えるディスクを含むプールの名前。

-o, --old-disk

置き換えられる古いディスクの名前。

-d, --new-disk

古いディスクを置き換える新しいディスクの名前。

reboot

システムを再起動します。

使用方法

```
reboot [-h]
```

security

主要なシステムセキュリティ設定のステータスを確認します。

使用方法

```
security [-h] {check} ...
```

サブコマンド

check	43
-----------------------------	----

check

セキュリティステータスをチェックしてレポートします。

使用方法

```
security check [-h]
```

shutdown

システムをオフにします。

使用方法

```
shutdown [-h]
```

snapshot

このセクションでは、スナップショットを操作するために使用するコマンドについて説明します。

使用方法

```
snapshot [-h] {list,cleanup,mount,unmount} ...
```

サブコマンド:

list	46
cleanup	47
mount	48
unmount	49

list

プールまたはファイルシステム、あるいはその両方のスナップショットをリストします。

使用方法

```
snapshot list [-h] [-p POOL] [-f FILESYSTEM]
```

名前付き引数:

-p, --pool

スナップショットを表示するプールの名前。

-f, --filesystem

スナップショットを表示するファイルシステム。

cleanup

期限切れのスナップショットを削除します。

使用方法

```
snapshot cleanup [-h]
```

mount

スナップショットをマウントします。

使用方法

```
snapshot mount [-h] -p POOL -f FILESYSTEM -s SNAPSHOT
```

名前付き引数:

-p, --pool

スナップショットを含むプールの名前。

-f, --filesystem

スナップショットのファイルシステム。

-s, --snapshot

スナップショット リストに表示される、マウントするスナップショットの完全な名前。

unmount

スナップショットをマウント解除します。

使用方法

```
filesystem unmount [-h] -p POOL -n NAME
```

名前付き引数:

-p, --pool

スナップショットを含むプールの名前。

-f, --filesystem

スナップショットのファイルシステム。

-s, --snapshot

スナップショット リストに表示される、マウントするスナップショットの完全な名前。

support

このセクションでは、サポート管理コマンドについて説明します。

使用方法

```
support [-h] {enable,upload-bundle} ...
```

サブコマンド:

enable	51
upload-bundle	52

enable

Arcserve サポートのためにこのサーバへのリモートアクセスを有効にします。

使用方法

```
support enable [-h] [-r RELAY] [-p PORT]
```

名前付き引数:

-r, --relay

リレーサーバアドレスを上書きする(オプション)。

デフォルト: "

-p, --port

リレーサーバポートを上書きする(オプション)。

デフォルト: 0

upload-bundle

診断用のサポート バンドルをアップロードします。

使用方法

```
support upload-bundle [-h] [-t TAG]
```

名前付き引数:

-t, --tag

サポート バンドルを簡単に識別できるタグ。

デフォルト: ""

time

このセクションでは、時間に関連するコマンドについて説明します。

使用方法

```
time [-h] {show} ...
```

サブコマンド:

show	54
----------------------------	----

show

時間情報を表示します。

使用方法

```
time show [-h]
```

timezone

このセクションでは、システムのタイムゾーンの設定に使用するコマンドについて説明します。

使用方法

```
timezone [-h] {list,show,set} ...
```

サブコマンド:

list	56
show	57
set	58

list

利用可能なシステムのタイムゾーンを表示します。

使用方法

```
timezone list [-h]
```

show

現在のシステムのタイムゾーンを表示します。

使用方法

```
timezone show [-h]
```

set

システムのタイムゾーンを設定します。利用可能なシステムのタイムゾーンを検索するには、「timezone list」を使用します。

使用方法

```
timezone set [-h] -t TIMEZONE
```

名前付き引数:

-t, --timezone

設定するシステムのタイムゾーン。

update

このセクションでは、システム更新の確認や実行に使用するコマンドについて説明します。

使用方法

```
update [-h] {config,check,install} ...
```

サブコマンド:

config	60
check	63
install	64

config

更新設定を管理します。

使用方法

```
update config [-h] {set,show} ...
```

サブコマンド:

set

更新の設定を行います。

使用方法

```
update config set [-h] [-c CHANNEL] [-t TAG]
```

名前付き引数:

-c, --channel

使用する更新チャンネル。

-t, --tag

更新コンテンツに使用するタグ。

デフォルト: 'latest'

show

更新設定を表示します。

使用方法

```
update config show [-h]
```

check

更新を確認します。

使用方法

```
update check [-h]
```

install

更新をインストールします。

使用方法

```
update install [-h] [-f | --force | --no-force]
```

名前付き引数:

-f, --force, --no-force

警告を無視し、プロンプトを表示しない

デフォルト: False

user

このセクションでは、ユーザアカウントの管理に使用するコマンドについて説明します。

使用方法

```
user [-h] {list,create,update,delete} ...
```

サブコマンド:

list	66
create	67
update	68
delete	69

list

ユーザをリストします。

使用方法

```
user list [-h]
```

create

新しいユーザを作成します。

使用方法

```
user create [-h] -u USERNAME [-r {admin,super_admin}]
```

名前付き引数:

-u, --username

新しいアカウントのユーザ名。

-r, --role

新しいアカウントの役割。可能な選択: admin、super_admin

デフォルト: 'admin'

update

既存のユーザを更新します。

使用方法

```
user update [-h] -u USERNAME [-p] [-r {admin,super_admin}]
```

名前付き引数:

-u, --username

変更するアカウントのユーザ名。

-p, --password

新しいパスワードを設定するように求める

デフォルト: False

-r, --role

アカウントの新しい役割。可能な選択: admin、super_admin

delete

既存のユーザを削除します。

使用方法

```
user delete [-h] -u USERNAME
```

名前付き引数:

-u, --username

削除するアカウントのユーザ名。

version

システムのバージョンを表示します。

使用方法

```
version [-h]
```

索引

A

`add-disk` 37

`alert` 3

Arcserve サイバーレジリエンスストレージ サーバのシェルコマンド 2

Arcserve へのお問い合わせ 3

C

`check` 43, 63

`cleanup` 47

`config` 60

`configure` 11

`create` 4, 16, 23, 35, 67

D

`delete` 6, 20, 25, 39, 69

`disk` 7

E

`echo` 9

`email` 10

`enable` 51

`exit` 14

F

`filesystem` 15

H

help [21](#)

hostname [28](#)

I

install [64](#)

interface [31](#)

K

key [22](#)

L

list [5](#), [8](#), [19](#), [24](#), [29](#), [32](#), [36](#), [46](#), [56](#), [66](#)

logs [26](#)

M

modify [30](#), [33](#)

mount [17](#), [48](#)

N

network [27](#)

P

pool [34](#)

R

reboot [41](#)
replace-disk [40](#)

S

security [42](#)
set [58](#), [61](#)
show [12](#), [54](#), [57](#), [62](#)
shutdown [44](#)
snapshot [45](#)
status [38](#)
support [50](#)

T

test [13](#)
time [53](#)
timezone [55](#)

U

unmount [18](#), [49](#)
update [59](#), [68](#)
upload-bundle [52](#)
user [65](#)

V

version [70](#)

漢字

概要 1